

# ESG経営入門セミナー

2022年12月12日（月）



高島ってどんな会社？

1. 会社概要  
— 創業当初から事業で社会貢献を目指す —

時価総額1.5倍って何をやったの？

2. 時価総額1.5倍 取り組んだ施策  
— 堅実経営から持続的成長企業への転換 —

サステナビリティと成長の両立は？

3. サステナ経営  
— 中期経営計画の変遷 —

# 1.会社概要

—創業当初から事業で社会貢献を目指す—

---

商号	高島株式会社 Takashima & Co., LTD.
代表者	代表取締役社長 高島幸一
創業年月日	1915年10月1日（大正4年） <b>創業108年目</b>
創立年月日	1931年12月1日（昭和6年）
事業内容	建材、産業資材、電子デバイスを取り扱う専門商社
資本金	38億127万円
連結売上高	74,054百万円（2022年3月期）
従業員数	連結891名、単体243名（2022年3月末時点）
株式	発行可能な株式総数 14,000,000株 発行済株式総数 4,500,973株（2022年3月末時点）
決算期日	年1回 3月31日
上場市場	東京証券取引所プライム市場、証券コード：8007

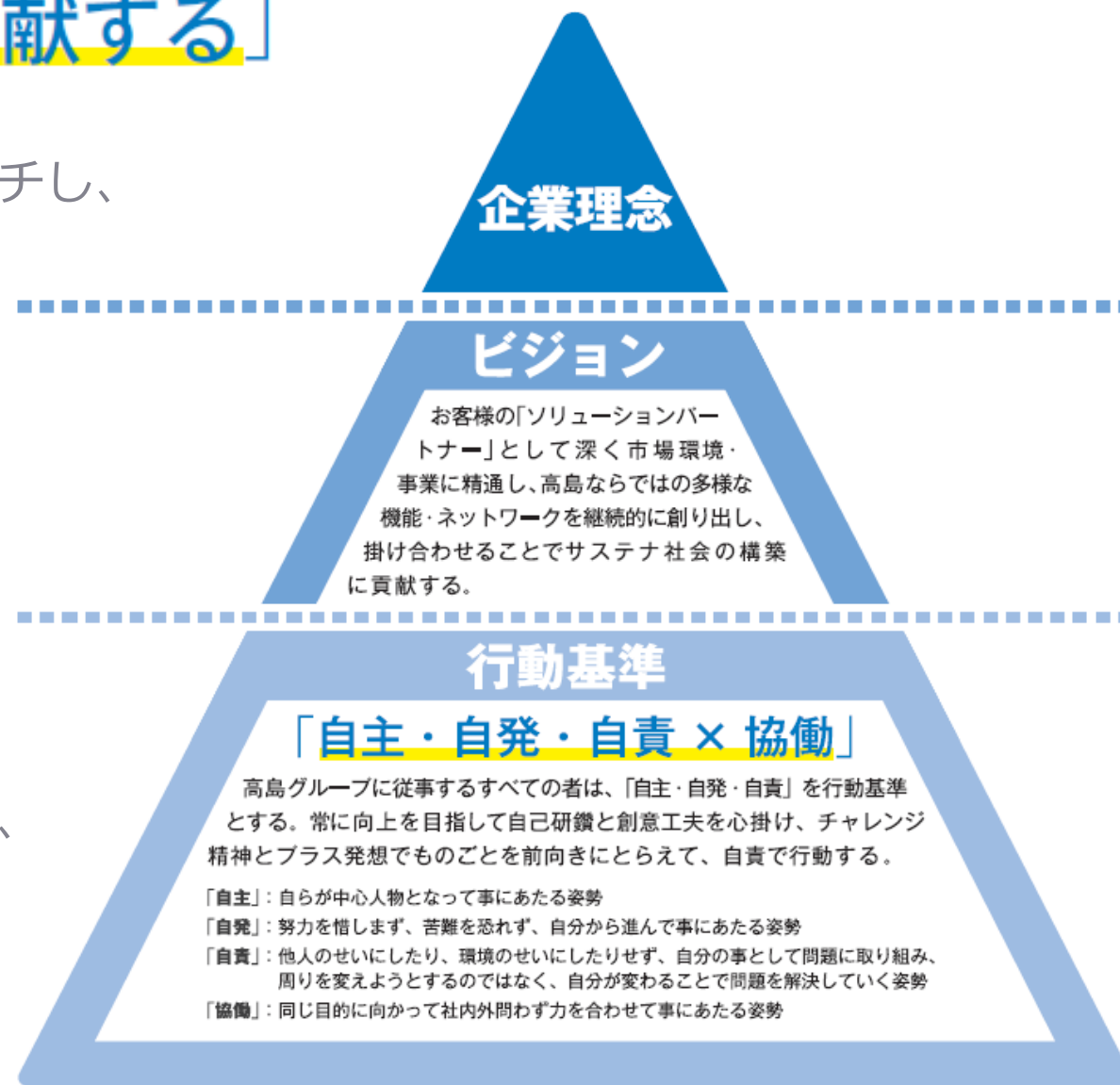


## 企業使命 「事業を通じて社会に貢献する」

高島グループは、オリジナルな発想を活かし、高島グループならではの方法で社会にアプローチし、積極的に世の中に役立っていきたい。そして、世の中に役立つことにより、その結果として高島グループも発展する・・・そんな企業グループでありたい。

## 経営姿勢 「誠実一筋」

高島グループに従事するすべての者は、誠意をもって約束を守り、明るく素直で、また謙虚で、感謝の念を忘れず、法令遵守はもとより、規律を守り、正しいマナーを身につけることにより、信用と信頼を蓄積していく。



1923年 関東大震災  
テント500張りを納入



皇居前広場のテント村

# 事業の変遷

当社の長年の歴史の積み重ねによる事業基盤や人財の多様性と、外部環境変化や内部環境危機に対応する力を活かし（進化X適合）、更なる成長を目指しています

売上高

100億円

1,000億円

800億円

1915(創業)

1950 ~

1970 ~

1999

2005

2009

現在

繊維専門商社

脱繊維・多角化

サステナの先進商社

事業領域

・重布(産業繊維)

・産業資材  
(樹脂製品など)  
・建材  
・断熱

東証上場

・電子部品  
・太陽エネルギー

多角化

・建材関連  
・建装関連  
・ICS関連  
・太陽光発電関連  
・産業資材関連  
・重布関連  
・特需関連  
・施設関連  
・電子・機器関連  
・生活財関連

・サステナブル・システム建材関連  
・カスタマイゼーション関連  
・i-ソリューション関連  
・ブランド&ファッション関連

サステナ経営

・建材関連  
・産業資材関連  
・イノベーション関連

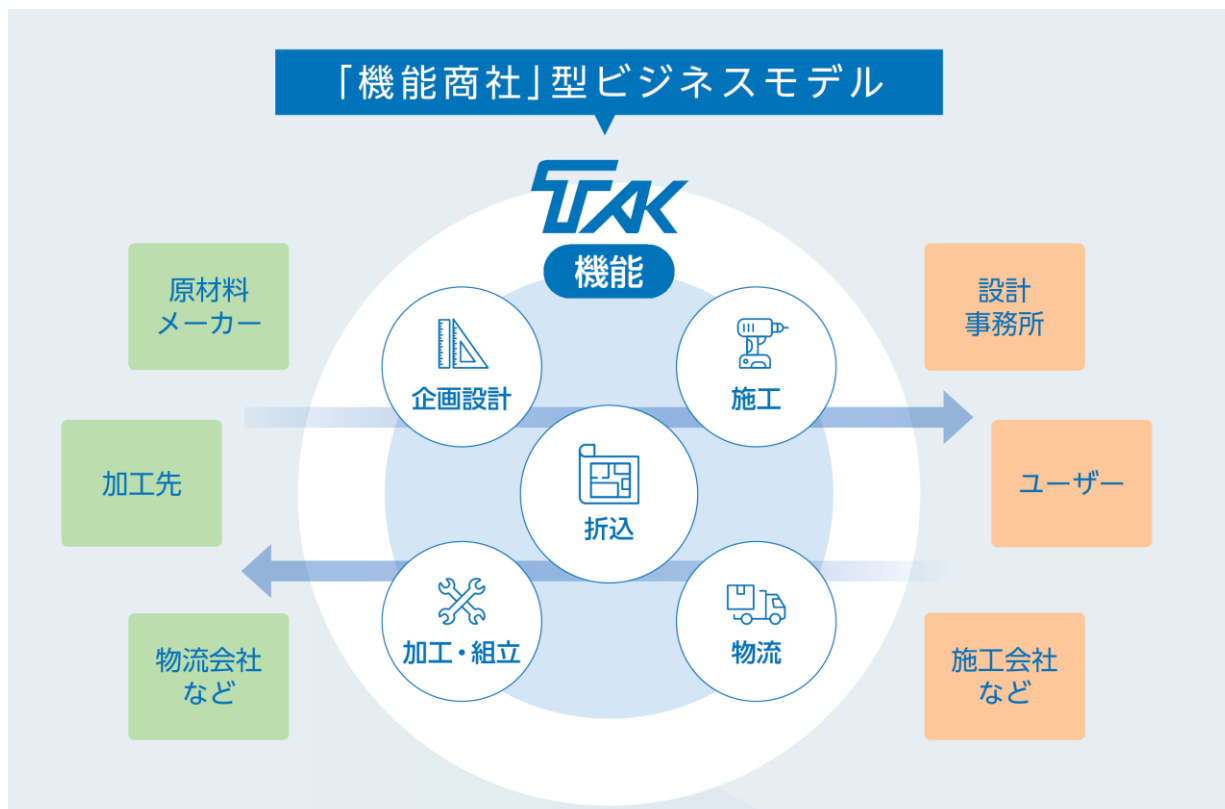
●建材  
●産業資材  
●電子・デバイス

東証プライム  
市場移行

## 機能商社とは？

過度に広範な市場展開を追求するのではなく、ターゲット市場における顧客価値の追求を重視。

お客さまのニーズを汲み取り、お客さまにとって真に必要な機能・ソリューションを提供することで高付加価値を創出し、結果として高い収益性を得る商社。



## 事業投資商社

### 総合商社に多い類型

投資先企業に対して、資金、人財、ノウハウなどの経営資源の投入や事業再編等を実行することで、投資先企業の企業価値の向上を行い、投資リターンを得る。

## 取引規模追求商社

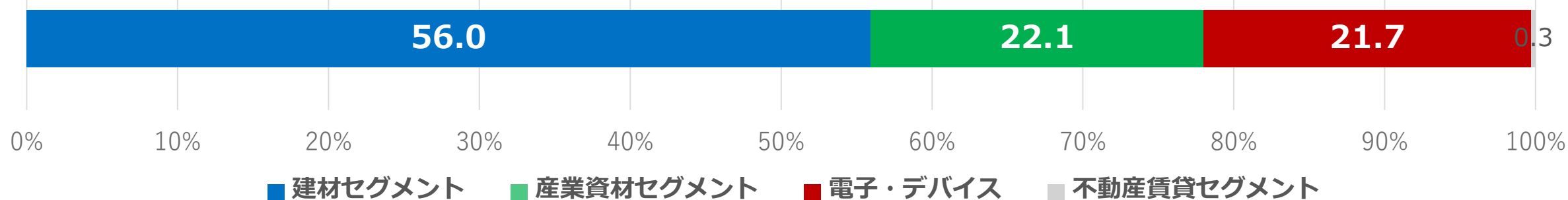
### 商材の分野を限定した 専門商社に多い類型

取引商材・取引規模の拡大を追求することで価格優位性を保ち利益を確保する。



# セグメント別売上高構成

2023年3月期 第2四半期 売上高 38,817百万円



## 建材セグメント

非住宅市場、住宅市場向けに壁材、基礎杭工法、断熱材、太陽光パネル関連資材、インテリアなど、建設・建装に関わる様々な商材を取り扱っています。販売ネットワークを全国に構築し、企画、設計から施工までの幅広い工程を請け負います。



## 産業資材セグメント

繊維資材、樹脂部材、機能資材など多種多様な商材を取り扱っています。当社とグループ会社は、設計・製造・加工・施工・販売において連携し、お客さまへ複合的な価値を提供しています。



## 電子・デバイスセグメント

お客さまのニーズを充足する電子部品を、アジアを中心としたメーカーより調達し供給する電子部品販売ビジネス、さらに、メーカーとして、それらの電子部品を搭載した基板実装（EMS）を行う製造受託ビジネスに大別されます。





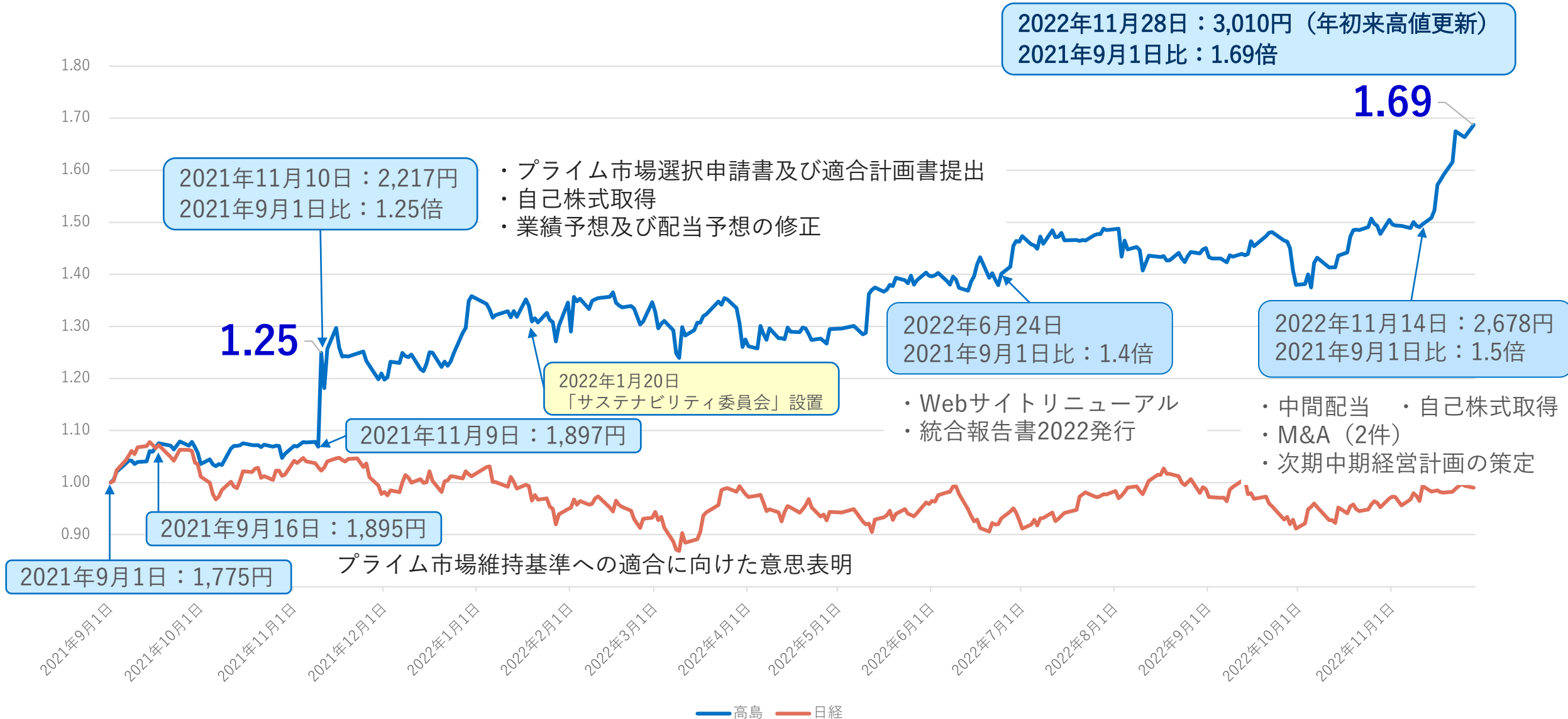
# V2H (Vehicle to Home)



## 2.時価総額1.5倍 取り組んだ施策 — 堅実経営から持続的成長企業への転換 —

---

# 高島の株価変化（直近1年）





上場維持基準

上場維持基準

2021年6月末

流通株式数

27,185単位

流通株式時価総額

~~47.9~~億円

流通株式比率

59.7%

売買代金

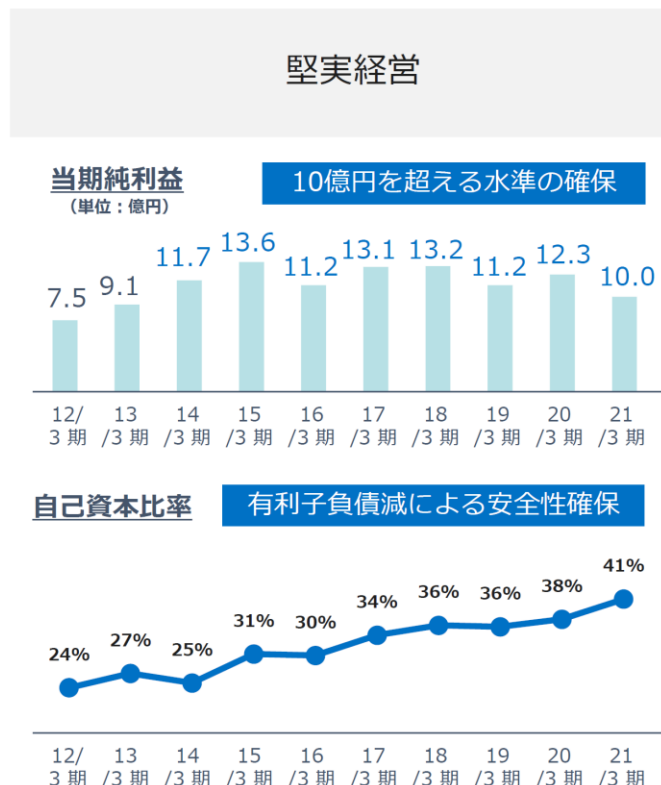
~~683~~万円

## 新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書（2021年11月）

- ✓ 安定且つ堅実な成長の結果、現状の財務状況は健全
- ✓ 中期経営計画 サステナX（クロス）および次期中期経営計画では、**これまでの堅実経営から持続的成長企業への転換**を進め、資本生産性向上を図る

経営方針

財務指標

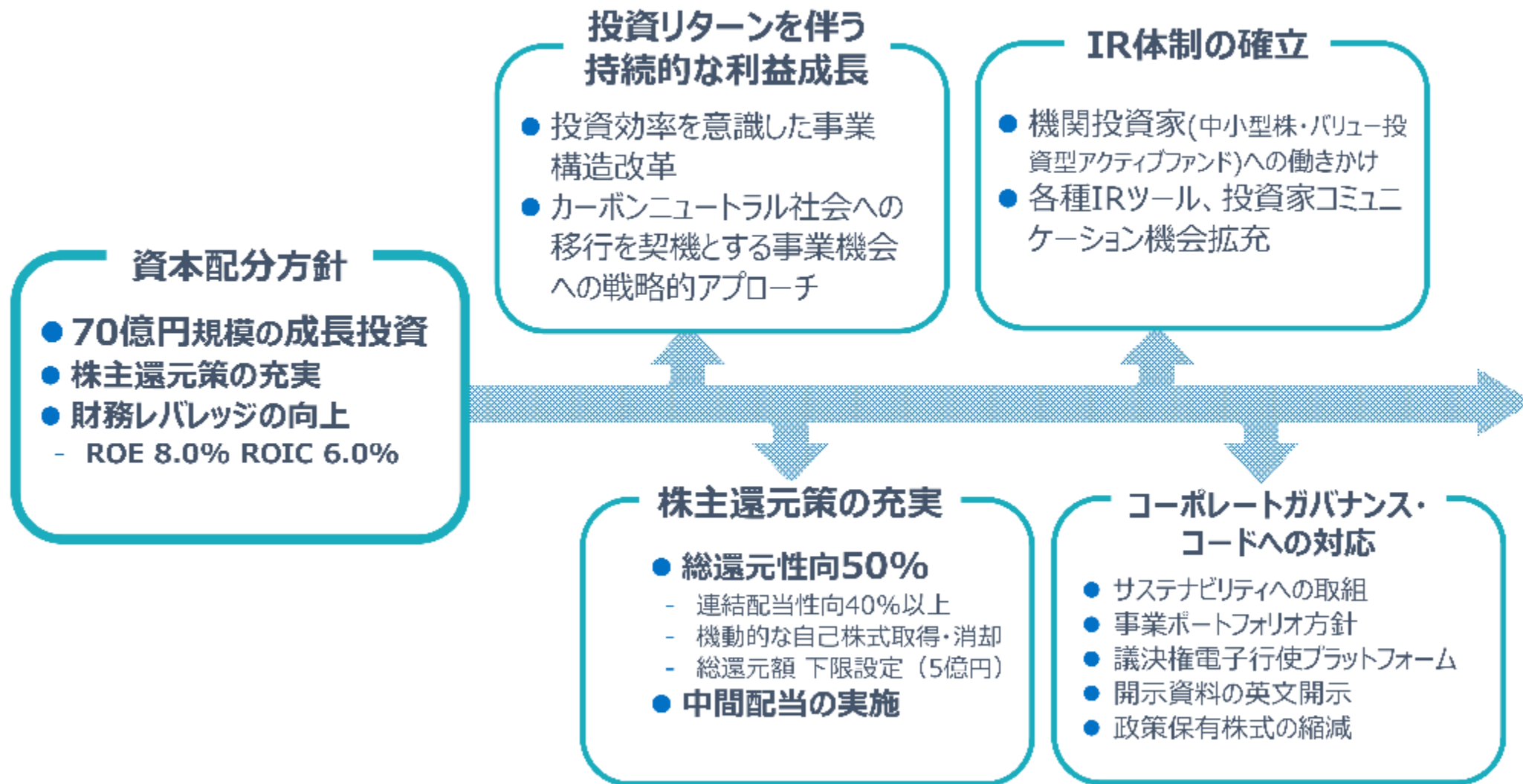


### 戦略的投資を伴う持続的成長企業への転換

投資リターンを踏まえた  
戦略的投資の実行

有利子負債をテコにした  
投資の実行

## 「流通株式時価総額」・「売買代金」向上に向けた取組基本方針





注力領域を中心とした70億円規模の投資枠  
(M&A、工場・設備投資、人財投資、IT投資など)  
➤過去5年(FY2016-FY2020)で実施した投資の2.5倍規模

2022年04月07日 株式会社日産ユーズドカーセンターとの協業

2022年11月14日 新エネルギー流通システム株式会社の  
株式取得による子会社化に関するお知らせ

施工ネットワークを全国で構築している、  
全国有数規模の再生エネルギー関連の施工会社



2022年11月14日 経営・財務株式会社信防エディックスの  
株式取得による子会社化に関するお知らせ

長野県を拠点に、避難所用の簡易型テントなどを扱い  
行政ニーズ対応力に強み



# 株主還元策の充実

## 株主還元方針

総還元性向 50%	「配当」ならびに「自己株式取得・消却」により、総還元性向50%を目指します	2022年3月期 52.8%	2023年3月期 予想 50.0%
連結配当性向 40%以上	連結配当性向40%以上の配当を行います	45.1% 130円/株	45.0% 140円/株
自己株式 取得・消却	総還元性向50%の目標に対して、連結配当性向40%以上の配当基準を満たした上で、機動的な自己株式の取得・消却を行います	45,200株 消却済	自己株式 取得中
総還元額 下限設定	株主への安定的な還元を念頭に、総還元額 の下限を5億円とします		
中間配当の 実施	これまで期末配当のみでしたが、株主還元機会の向上や株式市場における売買活性化を目的に、当期より中間配当を実施いたしました		

## 監査等委員会設置会社（2016年）

取締役9名

社内取締役 5名

社外取締役 4名（女性1名）



## IR・広報ユニット

2022年1月1日付け設置

## サステナビリティへの取組

サステナビリティ委員会設置

（2022年1月1日付け設置/1月20日開示）

## TCFD開示

統合報告書2022（2022年6月発行）にて開示

## 政策保有株式の縮減

投資有価証券の売却（2022年3月29日開示）

⇒縮減継続

## 議決権電子行使プラットフォームの利用

第134回 定時株主総会より導入

日本語

英語

決算短信

◎

2022年3月期から

決算補足説明資料

2023年第1四半期決算より開示

2023年第1四半期決算より開示

決算説明会プレゼン資料

◎ 第2四半期、通期  
第1四半期、第3四半期（当期から）

第2四半期、通期

決算説明会プレゼン資料  
（スクリプト付）

第2四半期、通期

第2四半期、通期

統合報告書2022

6月

6月

招集ご通知

◎

狭義部分のみ英訳

Webサイト

6月リニューアル

7月リニューアル  
基本、日本語のミラーリング

# 適合計画書における定量計画の進捗状況

		サステナX				適合計画書
		2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期		2026年3月期
経営指標	経営指標					
	当期純利益	10.00億円	12.96億円	14億円 業績予想	➡➡	15億円
	ROE	5.9%	7.2%		➡➡	8.0%
	ROIC	5.1%	5.2%		➡➡	6.0%
	総還元性向	27.1%	52.8%	50% 還元方針	➡➡	50%
上場維持基準	上場維持基準	2021年6月末	2022年3月末	2022年9月末 当社試算		2026年3月末
	流通株式数	27,185単位	27,058単位	27,694単位	➡➡	2万単位以上
	流通株式時価総額	47.9億円	63.4億円	66.1億円	➡➡	100億円以上
	流通株式比率	59.7%	60.1%	61.5%	➡➡	35%以上
	売買代金	683万円	3,855万円	3,447万円	➡➡	2千万円以上/日

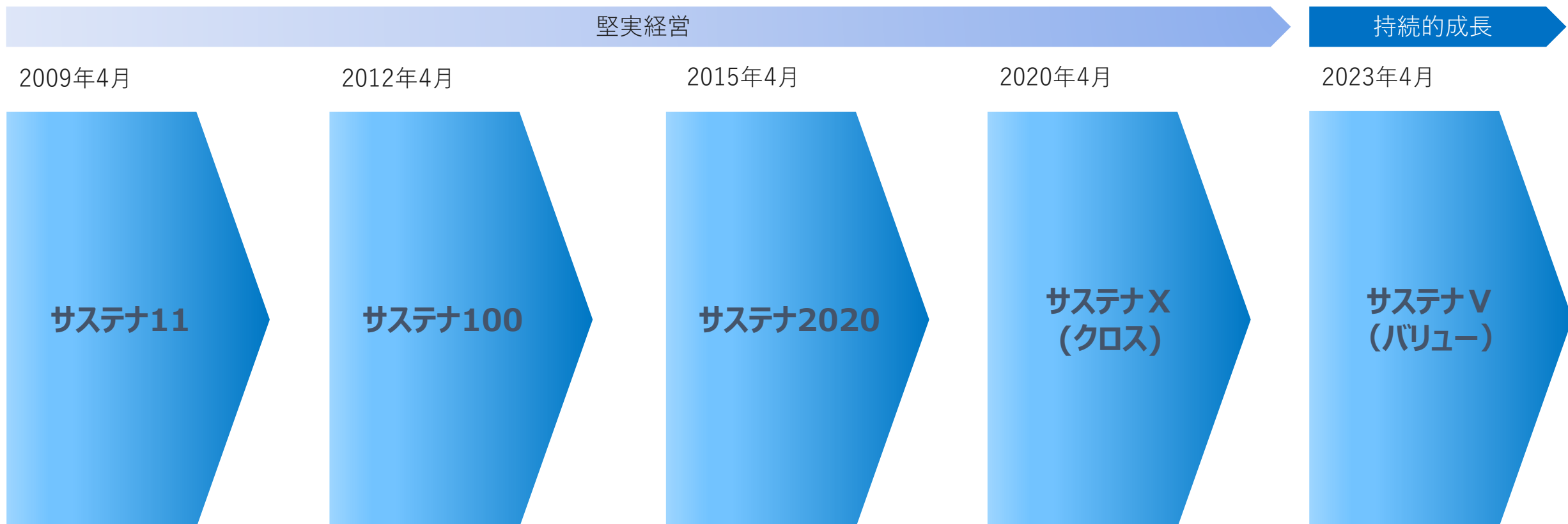
# 3.サステナ経営

## － 中期経営計画の変遷－

---

# サステナの先進商社へ

当社の中期経営計画は2009年よりサステナを冠し、サステナ意識は時代を先取り  
サステナ社会への転換に貢献を基本方針として掲げて活動  
2023年4月からの次期経営計画サステナV（バリュー）で5代目  
サステナVは堅実経営から持続的成長企業へと転換を目論む



### 3. 次期中期経営計画 サステナV(バリュー)

#### 3-1. 目指す姿

- 次期中期経営計画 サステナVは「カーボンニュートラル社会の実現（2050）」に向けて変化する、市場の成長機会を捉えた戦略組み立て（価値創造）により、サステナ社会への適応と持続的成長を同時実現する



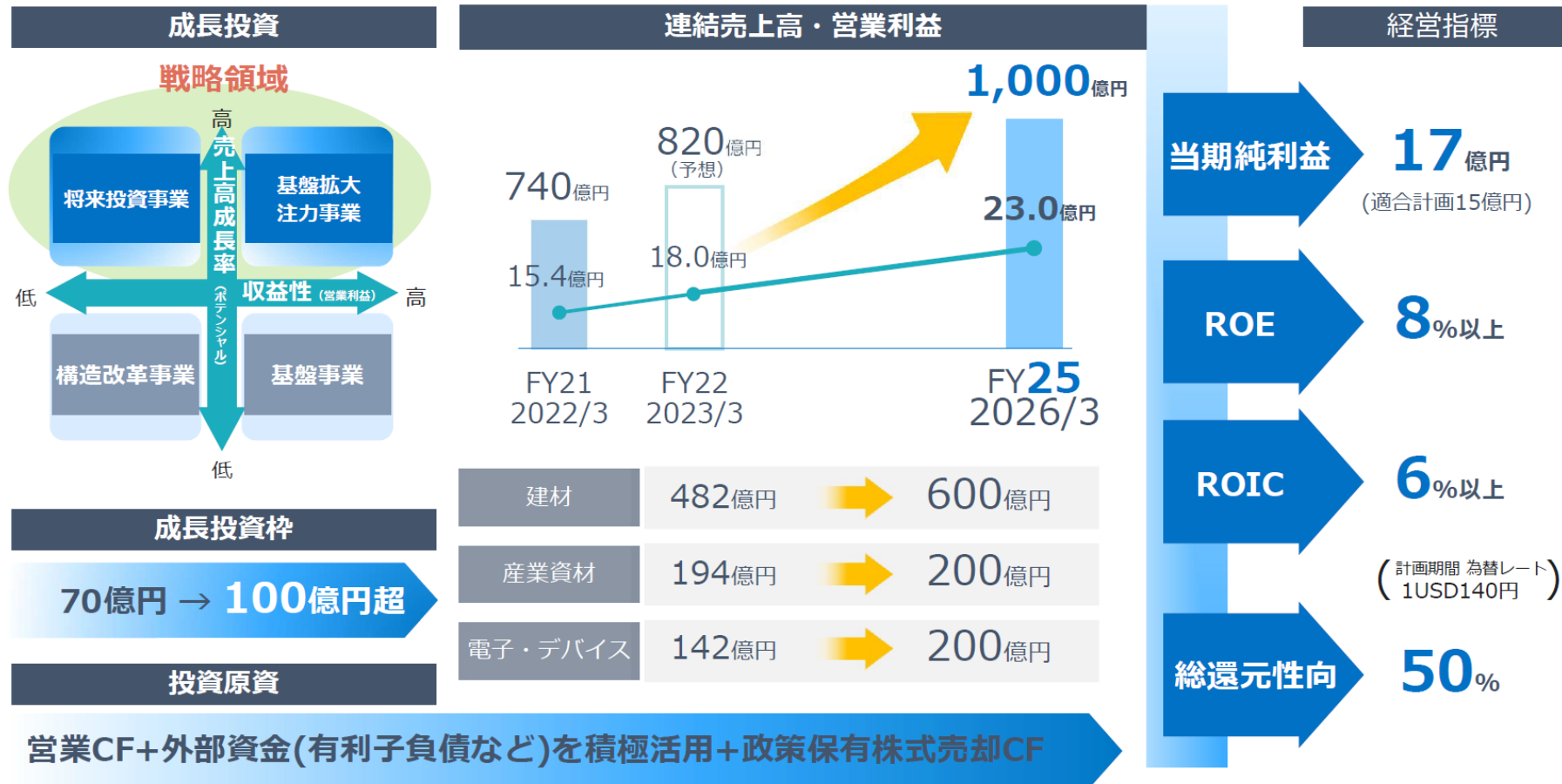


### 3. 次期中期経営計画 サステナV(バリュー)



#### 3-3. 経営指標・財務方針

- 次期中期経営計画最終年度（2026年3月期）の当期純利益17億円達成を目指し、成長を重視した経営指標・財務方針を設定



高島ってどんな会社？



【サステナを意識した会社】

- ✓ 創業当初から企業理念に「事業を通じて社会に貢献する」
- ✓ ゆえに、サステナ社会に貢献

時価総額1.5倍って何をやったの？



【適合計画書提出銘柄として注目→対応IRを展開】

- ✓ 近年は割安株、注目不足・アピール不足であったがIR活動を積極的に展開
- ✓ タイミングが良かったため注目  
→評価され株価上昇、適合維持基準にはまだ届いていない

サステナビリティと成長の両立は？



【サステナはもともと事業にビルトイン→株主目線意識し成長】

- ✓ サステナブルな事業もやっている会社
- ✓ 適合計画書の内容実行、株主還元UP、M&A実行、中計基本方針開示

ご清聴、ありがとうございました。